

平成23年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
 3項 農地費
 2目 土地改良費

農地・水保全課(内線:7336)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 戦略作物生産拡大地下 かんがい水田モデル整備 事業	73,580	0	73,580	38,205		(負担金等) 13,583	21,792	
トータルコスト	81,568千円 (前年度 0千円) [正職員:1.0人]							
主な業務内容	地下かんがいシステム整備 A=13.0ha							
工程表の政策目標(指標)	市町村と連携し実施計画に基づき整備を進める							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>食料自給率向上や6次産業化に向けて、水田をフル活用し、大豆、麦、飼料米などの作付けを集団的に行えるように地下かんがいシステムを整備し、排水不良水田の田畑輪換化や水管理コスト節減を図る担い手農業者の先進的な取り組みを緊急的に支援する。</p> <p>※地下かんがいシステムとは、水田の暗渠管と弾丸暗渠を組み合わせ、水位調整装置により地下水位を調節し、水田に埋設した暗渠管を通して、用水を供給又は排水を自動制御する新しい技術で、水管理が容易となり湿害の改善、干ばつ防止ができ、収量増、品質向上が図られる。 また、今後の農家の高齢化や大規模営農組織の低コスト農業に対する新しい省力システムとして農家の期待は高い。</p>								
<p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 事業内容：地下かんがいシステム整備（疏水材にモミガラを使用） 事業量：施工面積13.0ha 事業費：73,580千円 工事費65,000千円、測量設計費8,580千円</p> <p>(2) 負担率：通常負担率（国50%、県25%、市町村10%、地元15%）に対し、地元負担率を市町村が負担軽減する場合、市町村と同率で嵩上げ（5%）し、地元負担を軽減する。 <地元負担を10%軽減した場合> ①一般地域 国50%、県30%、市町村15%、地元5% ②中山間地域（振興山村、過疎、特定農山村） 国55%、県29%、市町村14%、地元2%</p> <p>(3) 事業主体：県</p> <p>(4) 実施場所及び面積 倉吉市関金町地区、江府町江尾・宮市地区ほか4ヶ所</p> <p>(5) 実施年度：23年度</p>								
<p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>平成19年度から3年間、「エコ水田整備技術モデル事業」（事業主体：鳥取県土地改良事業団体連合会）において地下かんがいシステムの試験施工(0.3ha)を行い、用排水調整容易化による水稻や大豆の収量増や品質向上効果を確認した。その成果を踏まえ、平成22年度に低コスト農業の実証と温室効果ガスの吸収源対策としての竹炭チップを活用した炭素貯留の実証を行った。</p> <p>さらに、平成23年度はこれらの成果を踏まえ、緊急的かつ集中的に地下かんがいシステムを県内で広範に推進することで低コストで多様な営農への取り組みを支援する。</p>								